

平成22年6月10日

日本ガス協会 市野会長 会見発言要旨

この1年を振り返ると、エネルギー・環境政策がめまぐるしく変わるなど、都市ガス業界にとって将来の事業のあり方に影響を与える出来事がいくつも起きた1年だった。

社会全体が低炭素社会の構築に向けて大きく変化し、クリーンエネルギーである天然ガスも含めた化石燃料自体の位置付けが様々に議論されていく中で、都市ガス業界の舵取りは今まで以上に難しく、重要な判断が求められる。本日、後任の会長として、東京ガスの鳥原会長に就任いただいたことは、私としても心強く思っている。

今後も都市ガス事業者が低炭素社会の実現に大きな力を発揮し、将来にわたってお客さまから選択され続けるエネルギーとなることを強く願っている。

日本ガス協会 鳥原新会長 会見発言要旨

社会はいま低炭素社会を目指して動きを加速しており、本年度は、エネルギー基本計画の改定や、温暖化対策税をはじめとした各種制度設計の具体化が予定されている。

日本ガス協会では、本年度を「低炭素社会の実現に向けて、新たな成長のために行動する年」と位置付け、都市ガス・天然ガスの位置付けの確立、保安の一層の向上、そして快適な暮らしを提案する「ウイズガス」の認知度向上などについて、重点的に活動を進めていく。

都市ガス事業の基本的使命である保安の確保・安定供給を大前提に、経済性・環境性に優れた天然ガスの普及に努め、低炭素社会の実現と経済の発展に貢献していきたいと思っている。

以上